

4月1日（第6日目）

午前

朝一番でノートルダム寺院の見学をし、その後ルーブル美術館をグループで見学した。ここから観光ガイドとして大日向氏が加わっていただいた。今回は前日までにグループに分かれてルーブル美術館で観たい所をリサーチし、グループ別に行動した。自分たちで考えて観に行きたい所を決め、実際にグループで観に行った。これは選手たちにとって素晴らしい経験になったのではないだろうか。2時間でルーブル美術館を観るとなれば、見たいものを絞って見に行かなければならず、大人でもなかなか見切れないとのことである。というのも、ルーブル美術館には約3万点もの美術品があるそうで、そのすべてを観るとなれば3日は必要といわれているそうである。この頃から各グループとも集合時間を守れるようになってきており、選手たちの自覚と行動が変わってきている感じがあった。昼食はシャンゼリゼ通り沿いのおしゃれなレストランでピザを食べた。



ノートルダム寺院



昼食はシャンゼリゼ通りにあるピザ屋さん

午後

午後はシャンゼリゼ通りで自由時間を過ごした。1時間半のグループ行動で、スタッフにとっては1番気になる時間であった。人通りの多い所での自由行動で若干名自分勝手な行動をとる選手もいたようだが、全体的にはグループごとの行動をしっかりとできるようになっていた。中学生年代でのこのような経験は、必ず高校生・社会人になって役にたつことだろうと思う。

その後、凱旋門で記念撮影し、徒歩でエッフェル塔に登った。1階・2階までは階段で上がり、その後は展望台までエレベーターで上がることになった。パリの街を一望でき、さぞ気持ちのいい眺めだったのではないだろうか。戻ってきた選手達は一様に晴れ晴れとした笑顔であった。青空をバックにエッフェル塔で記念撮影したあと、夕食は待ちに待った和食で、またしても茂木氏のご配慮により全日本代表選手御用達の「前山（ゼンザン）」で、美味しいハンバーグ定食を堪能させていただいた。



エッフェル塔



凱旋門



日本代表御用達和食『前山（ゼンザン）』

4月2日（第7日目）

最終日は朝から遊覧船に乗船し、パリの街をセーヌ河から眺め、昨日までにまわった名所を船の上から楽しんだ。あいにくの雨となったが、選手たちはデッキにでてはしゃいでいた。中には疲れてウトウトしている選手もいたが、選手個々でそれぞれに楽しんでいた。セーヌ河遊覧の後にはオペラ座方面に移動し、昼食にエスカルゴ料理を食べた。最初はエスカルゴに戸惑っていた選手も、途中からはおいしいといいいながら食べていた。中には、「カタツムリの味がする」といっていた選手もいたが、カタツムリを食べたことがあるのか？とスタッフ間では大笑いとなった。その後モンマルトルの丘に行き、サクレクール寺院を個々で観てまわった。フランスには多くの文化遺産があると感じ、またそれを実際に観ることが出来た選手達は本当に幸せであると感じた。ここから高速道路で移動し、空港近くのアウトレットモールにて最後の買い物タイムをいただいた。選手たちもやはり買い物好きみたいで、ここでも意欲をフルに発揮となっていた。

最後にとうとうシャルルドゴール空港に到着。ここで、これまでお世話になった茂木氏・野口氏・大日向氏にこれまでの感謝を伝えお別れした。本当に細部にわたりご配慮いただき有意義な遠征にさせていただいたことに感謝します。ここで出国手続きをすませ12時間をかけて一路日本に。



最終日昼食はエスカルゴ料理



空港近くのアウトレットモール

4月3日（第8日目）

長い旅路を経て日本時間14時に成田に無事到着。当日の強風で着陸時に飛行機がずいぶん揺れたが、ぐったりした選手達が入国を済ませ、荷物を受け取り空港を出たところに和仁コーチ、横山さんが迎えに来てくれていた。最後は八王子にむけてバスで帰るだけ。ここまで出発から帰国まで本当に選手達は考えさせられ、今までになかった経験、思ってもみなかったことを目のあたりにしたのではないかと思います。解散時では本当に参加選手の変化、たくましさを感じた。これからはこの経験を活かし継続すること、他の選手に伝えていくことが新しい課題になってくるのではないだろうか。



現地スタッフ（左から茂木さん、野口さん、大日向さん）



シャルルドゴール空港での選手達の様子。